

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 rows: 事業所番号 (0171500499), 法人名 (社会福祉法人 七飯町社会福祉協議会), 事業所名 (グループホームひだまりの家1), 所在地 (亀田郡七飯町字中野210-2), 自己評価作成日 (平成30年11月1日), 評価結果市町村受理日 (平成30年12月10日)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域密着を重視し、地域ボランティアによる趣味活動において、入居者様の個性を活かす支援をいただいたり、地域行事や家族会の参加を通して地域の方々からグループホームを理解していただくとともに、交流を図れるよう努めております。また、日々入居者様が安心して、心地よく、健康で過ごせるよう、職員一人一人が誇りを持って、入居者様のケアに臨んでおり、より良質なサービス提供を目標に意識を共有し、努力を重ねております。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL: http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2017_02_2_kihon=true&JigyosyoCd=0171500499-00&PrefCd=01&VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 rows: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401), 訪問調査日 (平成30年11月20日)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

七飯町の郊外に立地している当事業所は、七飯町最初のグループホームとして18年前に開設している。運営法人は社会福祉協議会で、地域との関係を重視したサービスの提供に取り組んでおり、居宅介護支援事業所と訪問介護事業所が同棟に併設している。隣接には系列の通所介護事業所「なかの苑」があり、裏手にある特別養護老人ホーム好日園とは、非常時災害協定を締結して協力体制を築いている。法人独自に考案したボランティアの登録制により、町内に住む多様な趣味の指導者を招いて開いている各教室の作品は、町の文化祭に展示するのが恒例となり、指導してくれるボランティアには町内限定の商品券を発行し、地域に還元している。家族会も協力的で、隣接の「なかの苑」で行われるクリスマス会は地域の方々も多数参加し、歌や踊りの余興やゲームなどが盛大に行われている。利用者は職員と一緒に漬物を漬けたり、好きな時間に好きなものを作りながら安心して穏やかに過ごしている。

Table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 detailing service outcomes and staff performance.

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所内やネームプレートに理念を掲示し、日常的に意識しながら、サービスの提供に努めています	管理者と職員は地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を共有し、事業所と地域との関係を重視したサービスの提供に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	町内会に加入し、地域行事への参加や地域ボランティアの受け入れを行い、交流を深めています	母体法人独自に考案したボランティア登録制で活動時間をポイントに変えて町内限定の商品券を発行しており、多種多様なボランティアが訪れ、そこで作った作品を町文化祭に展示するなど交流を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や相談の為来所された際に地域の方々へ伝えています		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	概ね2か月に1回開催し、会議における意見等をサービスの向上に反映するよう努めています	年6回、開催している運営推進会議は事業所の現状を明らかにし、自己評価を項目ごとに説明したり、外部評価結果も同様に開示し意見を伺うなど、多岐にわたり協議してサービスの向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	福祉課や包括支援センターとの連携に努めています	地域のニーズに応じて開設している当事業所は、行政と施策の整合性を図り、町民福祉の充実のために連携と協力体制を整えている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を無くする為の基本理念を掲げ、実践に取り組んでおり、身体拘束廃止委員会を設置、身体的拘束適正化のための指針を提示し、定期的な研修の実施を行います	身体拘束廃止委員会を設置し、年2回、外部研修や内部勉強会で全職員が理解を深め、事業所の指針に伴い、利用者の人権を守り抑圧感のない暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待関連の情報を周知、全員で共有し、防止が徹底されるよう努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用されている方が入居中であり、今後の継続支援に努めています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は、十分に理解・了承を得られるよう、丁寧に説明を行っています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や推進会議・家族会の際、意見や要望を伺い、可能な限り、運営へ反映できるよう努めています	年2回の家族会は活発な意見交換があり、災害時や停電時の連絡方法、面会の時の注意点などの意見に、最良な方法を検討しながら反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送りや月1回のユニット会議、個人面談の際に発言してもらい、反映する機会を設けています	管理者は年2回、職員と個人面談を実施し、職員は自己評価と共に法人担当者との個人面談が年1回行われるなど、意見や要望を伝える機会が多く、働く意欲に繋げている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々に適正な評価を行い、各自がモチベーションを高めて、働けるよう努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	自己評価シートを活用し、良質な人材育成へ向けて、研修参加の機会の確保とトレーニングの遂行に取り組んでいます		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修時や情報交換において、サービス向上へ努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めています	本人より傾聴し、共感しながら、安心できる信頼関係を築くよう努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族からも傾聴し、意向に沿うよう、信頼関係づくりに努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族のニーズを見極め、まず優先する支援を提供するよう努めています		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人ができる家事仕事を一緒に行い、「第2の家族・家」という認識のもと、共同生活を過ごしています		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人が家族とのつながりを大切に思ってもらえるよう、常に家族と連携し、共同で本人を支えるべく、支援に努めています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や知人との面会、外出、年賀状の送付を支援しています	絵手紙教室で作成した自作の年賀状を知人や家族、友人に送ったり、遠方からの知人と近所の方の訪問があり、職員は関係が継続できるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者間の関係性を把握し、支え合えるよう、配慮と支援に努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて、相談や支援に努めています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いや意向を聴くとともに、表情や態度からも把握するよう努めています	日々の暮らしの中で表情や動作、雰囲気などで本人の訴えや思いを把握し、自己選択や自己決定を尊重して支援しているが、困難な時には家族からの情報を得ている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	関係各位より情報を収集し、これまでの暮らしについて把握に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日頃から、本人のできる事、できない事を見極め、現状の暮らしについて、把握に努めています		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人と家族の意向に基づき、現状に適した介護計画をユニット会議で話し合い、作成しています	本人と家族の要望を取り入れ、月1度の主治医による往診時に意見を伺い、日々の記録と職員の意見を参考に、ユニット会議の中で課題を検討し、現状に合わせた介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	誰が見てもわかる言葉で記録し、ケアの統一を図り、介護計画の項目に番号を付けて、実践への連動を確認しています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個別の状況に応じて、受診等の対応を柔軟に行っています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域ボランティアの訪問を受け、絵手紙・書道・生け花・読み聞かせ・傾聴の活動を支援していただいています		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医の受診を継続できるよう、また随時症状に応じた適切な科を受診していただくよう支援しています	月1回、主治医の往診があり、日々、看護職員による健康管理と受診時の同行や通院を支援している。各医療機関からの情報は家族と共有し、夜間体制も完備している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調に変化がみられた場合、24時間連携体制に基づき、看護職へ報告し、指示を受け、即対応しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	看護職を中心に経過を把握し、情報交換や相談に努めています		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に指針を提示し、意向の確認と支援に努めています	契約時に重度化に伴う事業所の指針を家族に説明し同意を得ている。職員は看取りに関する研修会で理解を深め、運営推進会議の中でも議題とし、主治医の指示と家族の意向を大切にしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	2年に1度、救急救命講習を受講し、急変や事故発生に備えており、またAEDの設置に伴い、使用方法を学び、実用できるようにしています		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	本年9月の胆振東部地震による停電被害を経験し、不安な点や不十分な点が見えた為、法人レベルでも非常災害対策についての見直しを確認しています	年2回、日中と夜間想定訓練を実施している。自然災害について近くの久根別川の改修工事は行政が担い、発電機や備蓄用品の拡大を検討し、隣接の施設と災害時の協力を締結するなど、防災対策を整えている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人の尊重とプライバシーに配慮した声かけやケアに努めています	入居時に個人情報について家族に説明し、写真の使用と町文化祭に出展する時の名前の提示などの同意を得るなどプライバシーに配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の望んでいることを引き出したり、汲み取れるよう心掛けています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は業務を優先するのではなく、本人の体調や気分を考慮し、その人のペースで1日を過ごせるよう努めています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2か月に1回の訪問理容を利用していただいたり、本人の好みやTPOに合わせた装いができるように支援しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	誕生日には、本人の好みのメニューを提供したり、季節や行事に合わせた献立を作成し、個々の力量に応じて、食事の手伝いを行っています	調理担当の職員が献立を作成し、差し入れの野菜を利用者と一緒にご飯物にしたり、お誕生日には本人の好きな食べ物を提供し、外食は回転ずしを利用するなど楽しい食事の工夫をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状態に合わせた適切な量と携帯で摂取できるよう対応に努めています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、個々の状態に応じて、声がけ・見守り・介助にて義歯洗浄・うがい・舌洗浄を行い、口腔の清潔に努めています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	尿便意が不明瞭な方の場合にも、タイミングに配慮し、声がけや誘導を行い、失禁を軽減できるよう、自立排泄を支援しています	トイレ内は明るく、広くて車椅子対応が可能である。本人の生活習慣や排泄パターンを把握し、日中は布パンツを使用してトイレでの排泄を促すなど、自立に向けて取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	野菜や食物繊維の多い食物、水分、乳製品の摂取に心掛け、軽運動を行っていただき、個別の予防と対応に努めています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	本人の体調とタイミングに合わせ、通常週2回の入浴を行っています	週2回の入浴を目安にしている。系列の通所介護事業所なかの苑に温泉があり、デイサービスの休日を利用して温泉入浴が可能であり、利用者に好評を得ている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の習慣や状況に応じて休息したり、日々の過ごし方を工夫し、生活リズムを整えて、安眠につながるよう努めています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方薬の内容について、理解を共有し、確実な服薬を支援できるよう努めています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個別性を尊重し、手伝いやレクリエーション活動に楽しく参加できるよう支援しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の希望に沿った外出ができるよう、外気浴やドライブを支援しています	玄関先での外気浴や周辺の散歩で気分転換を図り、春のお花見と秋の紅葉は外食を兼ねて、全員バスを利用して遠出のドライブを楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預り金は、施設管理となっておりますが、希望や必要があれば、家族と相談し、対応しています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に応じ、電話をかけたり、年賀状を送る等支援しています		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	空調に配慮し、季節の生花を飾ったり、壁面に写真や作品を掲示し、快適な空間づくりに努めています	ユニットごとに構造の違いがあるが、地域の方々より寄贈された絵画が飾られ、天窓からは陽が差し込み、ちぎり絵、書道、折り紙、手芸品など各教室で作った作品が飾られ、利用者の生活の様子を知らせる記事が提示されている。ユニット間の通路は斜路で歩行訓練の場所となっている共有空間である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビ前のソファに集まり、くつろいでいただいています 個々が選んで自由に過ごせるような居場所づくりを工夫しています		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人のなじみや愛着のある家具や寝具、食器等を持ち込んで使用していただくことで、居心地のよい工夫に努めています	居室にはクローゼットが備え付けてあり、在宅当時の家具や思い出の写真が飾られ、大型のぬいぐるみがベッドで休んでいるのは在宅当時と変わることなく、自室として一人ひとりが使い勝手の良さに工夫が見受けられる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室口に表札と花の名前を表示し、トイレには誘導案内を示し、安全で自立した生活の支援に努めています		